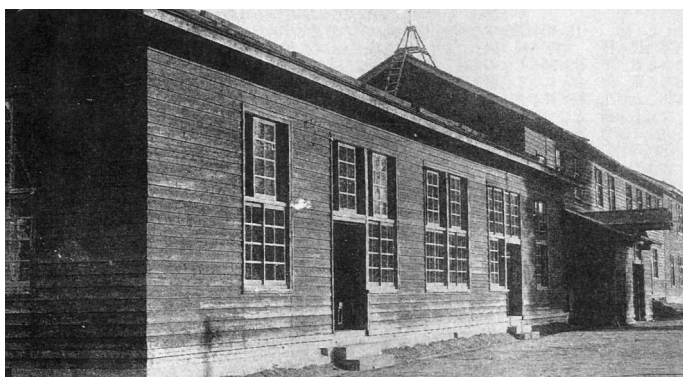


学校の再建に、地域みんなで協力してきました



田村 政一さん(S21年度卒)

館町集落にあった校舎は、2度の火災に遭い、後に一本柳に再建。その後、昭和48年に現校舎が建てられました。再建のたびに大勢の住民が協力してきました。地域から小学校が消えようとは誰も予想しなかったことです。次代を担う子供たちのために、今後もみんながそれぞれの持ち場で活動するよう期待します。

浅川 博文さん(S50年度卒)

「まだ浅川があ〜」としかられながら通った私の母校。2年生のときに給食が始まり、初めてシチューという食べ物を食べたような気がします。当時の運動会はとてにぎやかで、お昼はみんなで豪華な重箱弁当をいただいで、家族に叱咤激励されて午後の競技に臨みました。浅利 二雄さん(S30年度卒)

一本柳校舎の時代、野山を駆け回り、川遊び、かけっこ、相撲、かくれんぼ、低学年も高学年も一緒になって、暗くなるまで遊んだものです。いじめなんてありません。母の口癖は「中の上でええ、人に悪くするもんでねえ」。おかげでのびのび過ごせました。

片岡 金也さん(S39年度卒)

PTA活動で、酒を飲む機会がたたくさんありました。スキー大会では、子供そっこのけで鍋を囲んで酒を飲み、次の年には飲酒禁止になったほど。今思い出しても反省の念にかられます。子供たちの成長とともに、我々親も成長した時期でした。

田村 好司さん(S42年度卒)

PTA活動の後は、いつでも反省して交流を深めたものです。本当に「子供たちのために」と思うこともありました。確かにきずなは強くなりました。子供たちに負けないようにと、頑張った学芸会の発表。大人になっても学校とつながっていられたことに感謝します。

田村 和弘さん(前PTA会長)

歴代PTA会長で、山田小卒でないのは私だけかも。地域のことをよく分からない私を盛り立ててくださった皆さんに感謝します。児童の減少で、保護者も「一人一役」。役員選出のときも、誰一人文句も言わず、ピツクリするほどスムーズに決まりました。学校や子供たちへの愛情の深さを感じました。

安部 玲子さん(S25年度卒)

59年前の山田大火災で、本や

昭和 ← 明治

山田小学校の歩み

7年7月11日	山田新民学校として洞雲寺に開設。
12年2月	山田小学校となる。
25年4月	山田尋常小学校に改称。
26年7月1日	校舎新築
35年6月17日	高等科設置
39年5月7日	校舎全焼
40年7月19日	校舎再建
16年4月1日	山田国民学校と改称
22年4月1日	山田小学校と改称
23年5月10日	校舎全焼
24年9月15日	新校舎落成式(一本柳)
26年	保護者会を解散し、PTA発足
29年12月12日	創立80周年記念式
31年9月30日	市町村合併により田代町になる
31年10月1日	校章制定
12月1日	保滝沢に冬季分校開設。
32年10月	校歌制定
35年4月	在校児童数244人。本校のピーク
37年11月12日	鼓笛隊楽器 装具80人分の寄贈(学区民)
38年11月26日	PTA学校林植林奉仕
39年11月10日	創立90周年記念式。校門ほか寄贈(同窓生)
42年9月9日	校庭を拡張
43年11月7日	明治100年記念植樹(七曲学校林)
44年9月8日	給食室完成、完全給食実施。
45年1月7日	スキー場開き
3月10日	保滝沢冬季分校廃校式
46年12月5日	PTA、学区民の奉仕でスキー場整備完成
47年6月17日	校舎新築着工
11月15日	新校舎竣工 12月28日新校舎に移転
48年7月22日	プール竣工、校舎落成記念式典